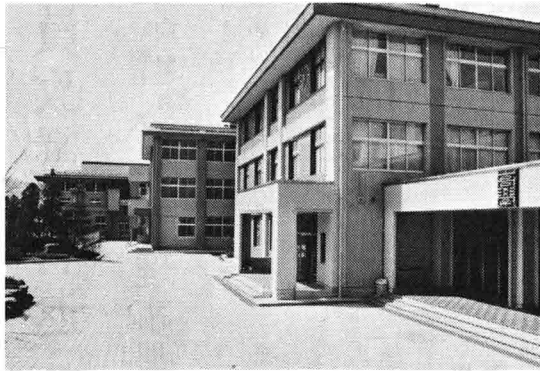


全容を一新した母校



手前は生徒出入口。その向うが正面玄関。奥に見えるのは定時制棟及び格技棟。

八十年の風雪に耐えた母校の老朽校舎も九年の歳月をかけて様相を一変し、本年三月をもって全ての改築工事を完了した。昔日の面影は、わずかに校門と土壁そして旧体育館(二十八年竣工)を残すのみとなった。四十七年、同窓会・学校・PTAの三者によって校舎全面改築が決議され、翌年現地面改築が決定された。五十一年十二月鉦音高く工事に着手、

校舎改築すべて完了 五十年から九年がかりで



第18号
昭和59年5月10日
社団法人
上田高等学校同窓会
印刷所
田辺印刷株式会社

社団法人 上田高等学校同窓会 昭和59年度総会御案内 同窓会員各位

理事長 金子 八郎

本年度の通常総会を下記により開催致しますので、お誘い合せの上多数御参加下さるよう御案内申し上げます。

記

- ◎日 時 昭和59年6月10日(日)午後1:00より
- ◎場 所 同窓会館2階ホール
- ◎会 費 (懇親会参加者のみ)1,000円

- 1) 総会
理事長・校長あいさつ
議事 (1)昭和58年度事業報告及び決算承認の件
(2)昭和59年度事業計画及び予算承認の件
- 2) 受章者祝賀式(氏名別掲)
- 3) 記録映画 「宇宙開発の道」上映(16ミリ45分)
- 4) 記念講演 演題 「日本の宇宙開発」
講師 宇宙開発事業団 理事・工学博士 竹中幸彦氏(39回卒)
(放送衛星ゆり)2号打上責任者)
- 5) 祝賀会懇親宴会
受章者氏名

昭和58年秋	昭和59年春
別府 基保氏(25回) 勲五等双光旭日章	滝沢 勝人氏(21回) 勲四等瑞宝章
久保田義雄氏(26回) 勲五等双光旭日章	柳沢晋一郎氏(24回) 勲四等瑞宝章
塚田 通明氏(26回) 勲三等瑞宝章	滝沢 敏次氏(29回) 勲五等瑞宝章
松井 喜三氏(27回) 勲三等旭日中綬章	
柳沢 文秋氏(27回) 勲五等双光旭日章	

翌年一月には職員・生徒の見守る中で五十番教室(二十三年度竣工)の取壊しが行なわれ、その後鉄骨四階建普通教室第一期工事八教室が高く聳え

酒を撒き旧校舎に別れをつげの思い出を残した六十番教室(旧寄宿舎)の取壊し作業が行なわれ、多くの先輩方が涙をこらえてこれを見守った。五十二年六月には普通教室二期工事十六教室が完成し、生徒は安心して学習に打込める教室が確保できた。五十四年七月十一日には講堂取壊しに先立ち閉堂式が行なわれ、関東支部長矢島五郎氏に講演を依頼し、思い出多い講堂とも別れを告げた。五十五年九月には二十・三十番教室棟及び剣道場の取壊しが行なわれ職員生徒相集り二十期和田晋氏の寄贈による美

なわれた。参会者一同母校の今昔の思いにひたすら感慨の念胸に迫るを禁じ得なかった。後日幾多の同窓生がその折の感激を文にしたため母校に送ったという。五十七年三月には旧図書館跡に旧館の屋根を偲ぶ格技音楽食堂棟を建設した。これは二階に柔・剣道場・一階に音楽室・食堂を兼ね備えたもので、特に食堂は改築以来在校生に不便をかけただけに学校当局も力を入れ、現在では毎日百数十名の在校生諸君が活用している。本年三月定時制独立棟が完成し母校の全面改築はその全てを完了した。

古城の門

今、「ハイカラ」という言葉は死語と化した。同じように、反対語の「蛮カラ」も今日の社会とは無縁である。マントをまとうて放歌高吟、などといった世界は、遠い過去のものとなった▼そういえば、裸足に下駄を履いて通学した時代があった。木枯らしの吹く季節に、いつまで裸足を我慢できるか競ったりした。しかし、雪の降りしきの中で、あるいは夏の強い日ざしのでこぼ道で、下駄には結構風情があった▼今日それが、白いストッキングとスニーカーに変わっている。スニーカーは、下駄にくらべると語感からしても、姿、形にしても、なんとも軽快である▼身なりがスマートになるのはいいが、人間として軽々しくなるのは困る。願わくば、頭脳ばかりでなく、身体、精神をしっかりと鍛える高校生活であってほしい▼それにしても、時代が流れ、古城の門をいでも、入る人々の格好が変わっても、古城の門ははるか昔の面影をとどめたままだ。いつの世にも変らぬものは、どっしりとした落ちつきと、なんともいえぬやすらぎとを、わたしたちに与えてくれる。

役員改選、若返える

昭和五十八年度 同窓会総会 新理事長に金子八郎氏

昭和五十八年度総会に於て任期(三年)満了に伴う役員改選が行われた。今回は過去十六年間ご苦労いただいた柳沢理事長及び笠原、鈴木両副理事長が辞意を表明されたので大巾改造となった。

改選は慎重を期し、理事・幹事十一名よりなる選考委員が組織されて遠藤恭介氏(20)が委員長となって事前に選考が行われ、総会で満場一致承認された。定款の定めるところにより次の諸氏が名譽会長、顧問に初めて推戴された。

顧問	鈴木俊	27
顧問	母袋忠右衛門	32
新役員は次の通り。		
理事長	金子八郎	39
副理事長	小林軍治	37
理事	水野春海	42
理事	遠藤恭介	20
理事	柴崎章雄	26
理事	竹内敬太郎	29
理事	矢島五郎	31
理事	浜村謙一郎	35
理事	高山薫	36
理事	甲田英久	41
理事	沓掛信敏	42
理事	小林茂	47
理事	伊藤伝兵衛	48
理事	山極勝夫	49
理事	松山徹	50



ごあいさつ

理事長 金子八郎

昨年6月、理事長にご推薦頂きましたが、2万余名の同窓生のご期待や輝かしい伝統を考えますと、今も身の引き締る思いが致します。未熟ではありますが、精一杯務めたいと考えておりますので、格別のご指導ご支援を賜われますようお願い申し上げます。

八十周年記念事業の一つでありました前庭は、その後も卒業記念として立派な作品が寄贈され、記念植樹もすくすくと育ち、大変見事な庭園となりました。長年にわたる校舎の改築事業も、先頃完成した定時制校舎を最後にすべて終了しました。もはや昔日の面影は殆んど見ることが出来なくなりましたが、素晴らしい教育環境が整い、非常に心強く感じております。

来るべき総会には、面目一新の母校をご高覧かたがた是非ご出席くださるよう、心からお待ちしております。



新任ご挨拶

学校長 松本文男

緑したたる候となっておりますが、しかしながら同窓生の各位にお

校長教頭先生異動

この三月には校長、教頭先生が全員入れ替った。斉藤校長(4)、牧教頭先生は定年でご勇退。代って松本文男先生が本校へ、清水立善先生が本校定時制教頭より全日制教頭に移り、後任定時制教頭には伊藤和彦先生(44)が就任された。

かれましたは若々しい新芽の如き勢いでそれぞれにご発展のことと拝察申し上げます。この度四月一日付けをもって本校の学校長に転じられ、同日、栄光の歴史を語る古城の門より入り着任いたしました。

八十有余年にわたり東信濃の教育の殿堂として本県の教育を担い、数えきれない多くの人材を育ててきた伝統は極めて重く、地域一帯や同窓会の皆さんの願いは限りなく深いものがあり、その任に耐え得るか否かはわかりませんが、己を減し現時点に即応せる最高の教育を模索し実践して参りたきものと念じております。このような中で、先輩各位の変わぬ暖かいご指導とご支援を願うこと誠に切なる次第

理事 小笠原光三 51
笠原一洋 53

理事	佐藤 圭司	54
理事	丸山 正一	56
理事	龍野 彰宏	58
理事	西川 秀栄	39
理事	荻野 幹夫	59
理事	島田甲子雄	65
以上理事20名、監事3名。		

退任御挨拶

前校長 斎藤嘉郎



まず、各位のご健勝を心からお祈りいたしご挨拶いたします。

例年になく厳しい寒気と降雪に明け暮れた長かった冬もようやく終り、愈々春暖快適の候となっております。

各位におかれましてはますます御清祥のこととお慶び申し上げます。私ごと去る三月末日をもって、長野県上田高等学校校長の職を最後に三十有余年の教職を退きました。

思えば、二度にわたる十八年間、私の教員生活の半分の歳月を母校に勤務させて頂き、殊に校長としての二年間は校舍全面改築事業の仕上げを完了して退任することができましたことは、同窓生各位の公に亘る御指導と御鞭達との賜と深く感謝申し上げます。なにとぞ、今後とも従前同様の御交誼をたまわりますようお願いいたしますし退任の御挨拶といたします。終りにごぞみ、上田高等学校がますます隆昌発展されま

針ひとすじに世界をかける



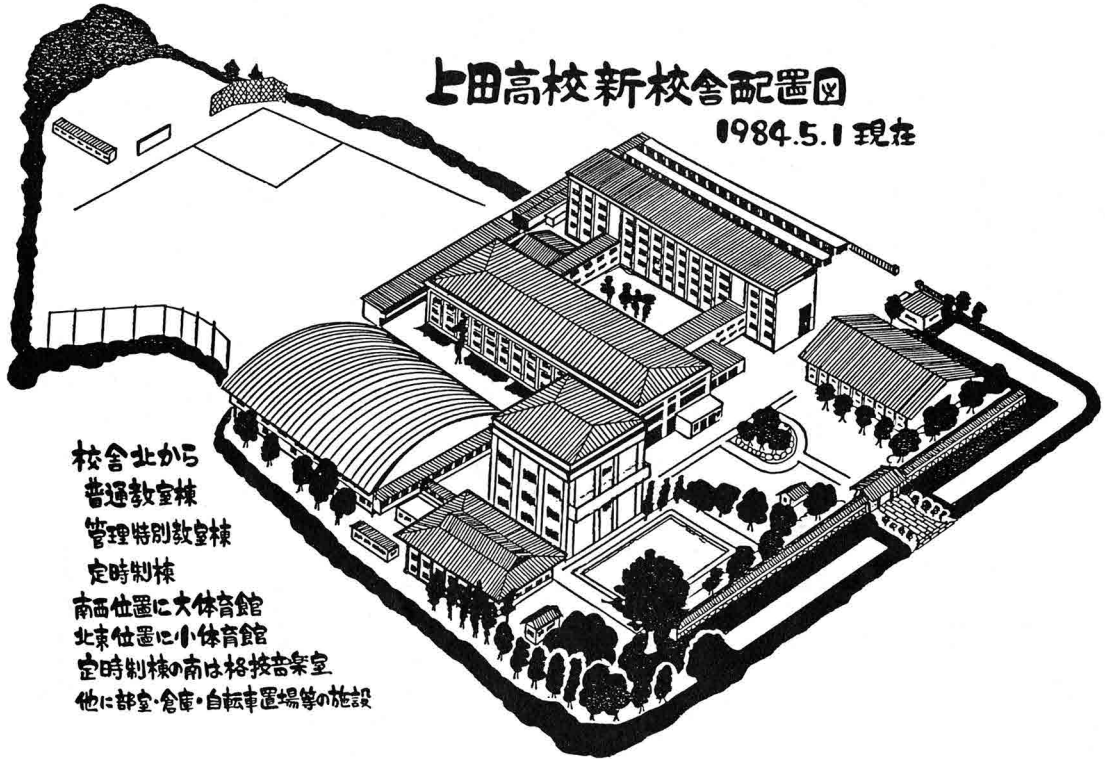
オルガン針株式会社

取締役社長 増島芳美 (49回)

本社・工場 長野県上田市前山1 電話(0268)38-3111(代)
東京・名古屋・大阪・熊本・新潟
台湾・香港・シンガポール・西独アーヘン・スイス

上田高校新校舎配置図

1984.5.1 現在



校舎北から
普通教室棟
管理特別教室棟
定時制棟
南西位置に大体育館
北東位置に小体育館
定時制棟の南は格技音楽室
他に部室・倉庫・自転車置場等の施設

伝統が生きる

クラブ活動紹介

ハンドボール部

全国大会出場18回を数える伝統あるハンドボール部は、今なお力強く生きています。昨年度県大会決勝で惜しくも1点に泣いた。その後北信越大会に3度出場3位の好成績を得た。雪辱にもえる闘魂はますます、県新人大会では見事な展開で優勝。勉学とスポーツの両立をモットーに今生徒達は厳しい練習に耐えています。私も母校での指導に生甲斐を感じながら情熱を傾注しています。どうか諸先輩のご支援をお願いします。新年度の活躍をご期待下さい。

(46卒 中沢正巳記)

陸上競技部

先輩方の築いた伝統ある陸上競技部を、一歩でも向上させようと部員二十数名が市営陸上競技場で、練習に励んでいます。最近、上小地区の中学校は、指導者が少ない為陸上部がない学校が多く低迷しており、それが高校にも影響している現状です。しかし、ここ数年大会成績も向上し、駅

伝においては、県下で上位を占めるようになり、また昨年度は、県新人戦で総合優勝をし、今年度の活躍に期待できると思います。

ブラスバンド班

我が吹奏楽団も創立34年目を迎えるが、この伝統の陰には幾多の先輩諸氏の尽力があったことは言うまでもない。美しい響き、魅力ある音を得ることは並大抵ではない。始業前の自主練習、放課後1時間半、日曜祭日4時間の練習に励んでいる。活動内容は松尾祭のステージ、定期演奏会、団内のアンサンブルコンテストを柱とし、コンクールにも48年東海大会出場を皮切りに7回(50・51・52・54・57・58)県代表となり、アンサンブルコンテストも56・57年と東海大会出場を果たしてきた。また夏休みは合宿を通じ、団員同志、一層、心のつながりを深めている。

今日もまた、吹奏楽を愛する88名の仲間が音楽室に足を運んでくる。

(次ページへつづく)

住んでよし 心豊かな木の住まい。



上田サニ木材合資会社

代表社員 島田基正 (62回)

本社=上田市中央6-5-50
TEL 0268(22)2738(代)

ハム造り、名人芸の逸品



代表取締役社長 久保忠夫 (44-4回)

本社/上田市天神2-3-13
TEL (0268) 22-8686(代)

名物先生、永遠の眠りに…

数々の感銘と思い出に残して

本校教育のため長年に亘り御尽力賜りました左記の先生方がお亡くなりになりました。謹んで哀悼の意を表し、御冥福をお祈り致します。(竹内敏太郎記)

高野 豊文先生(地学)

昭和11.4.31着任 15.4.30転勤

昭和58.9.1(肺炎) 85才

豪放磊落、円転滑脱な反面、繊細な心をおもちになり、自説にこだわることなく人と融和し談笑しました。授業は独特の口調の「高野節」でなされ生徒に深い感銘を与えた。

井出 弥門先生(数学)

昭和23.7.31就任 29.3.31退職

昭和58.12.15(老衰) 92才

その昔上田高女の数学で有名だった県下数学界の泰斗。本校に着任以来、生得の高潔円満なお人柄と数学々習の要諦を独特の教授法で教えられたので生徒に与えた影響は実に大きかった。

中沢 正生先生(事務長)

昭和19.12.15着任 36.7.5退職

昭和59.1.30(脳血栓) 86才

古武士の面影があり、精励恪勤、休日にもよく出勤して執務され、校使を督励して校

内外の整備に尽力した。また野球の後援会の組織作りや募金にも奔走された。

高柳 厚先生

昭和22.10.31着任 37.3.31退職



「伸ばして、伸ばして。」曲げて、曲げて、六、七、八。」テキパキとした号令と旋律あ

宮坂仁吾先生を偲ぶ

四十八回卒

保坂 憲男

る声が、さわやかな校庭に流れる。宮坂仁吾先生の「……体操」である。

先生は人の名前、声を覚えることが得意で私達は「啞然」としたものです。また先生は歩き方に特徴があり、常に自信に満ちた満足しきった笑顔

に出場。先生の熱意あるご指導のお陰と思ひ出されます。先生は恬淡で人間味豊かな迫力ある口調で説かれよく子弟を厚遇せられたばかりでなく一般世間の人に対してもまかにお疲れをいやしてくださ

会歌の歌詞を作詞したのも有名である。(作曲は松平忠久氏)

依田 誠先生(柔道)

大正10.11.30就任 昭和22.3.31退職

昭和58.11.5(心臓衰弱) 90才

質朴剛毅、自らを信ずること固く、千万人と離れ吾往かんの気概をもって事に当られ、又、後輩生徒の面倒をよく見、先生のお世話で学業を続けたり、上級進学が出来た者も多く、逸話の多い先生だった。

昭和57.8.11(脳血栓入院肺炎)本校野球部を初の甲子園全国高校野球大会に出場させ、ベストエイトにまで育て上げた名部長、本校十九回の卒業生で在学中に学友会川西同志

で背すじを伸ばし堂々とお歩きになられる。「仁吾先生颯爽と街を行く。」と人々は口々に言ったものです。快拳がございいます。昭和三十二年上田松尾高最後の年です。野球部の甲子園出場はじめ、十数部の運動部全部が長野県を制覇し、こそってインターハイ

教育方針となされ、勝った子も負けた子も、希望する学校に入れなかった子も先生はその悲しみを一身に背負った受難者のように公平にいつくしんでおられました。「何事もベストをつくせ、しかる後敗

でもありました。先生の教育の結果、今私たちはがんばっております。あらゆる場でベストをつくされた先生、長い間ご苦勞様でした。今こそ静かにお疲れをいやしてくださ

頭と精神力を鍛え、一生の趣味として社交にも役立つ囲碁・将棋は、高校のクラブ活動としても、年々盛んになっていますが、上田高校囲碁将棋班も、本校のクラブ中、近年最もめざましい活躍をしているクラブです。

将棋は、56年の県大会優勝以降は、やや沈滞気味ですが、囲碁は、52年以来毎年県大会で何種目か優勝し、全国大会で活躍しています。特に女子団体は、56・57年に全国大会の準優勝に進出し、高いレベルの実力をもち、今年も全国上位をめざしています。

この活躍も、技術のコーチや、物心両面のご援助してくださる多くの先輩方のおかげであると、班員一同、常に感謝申し上げます。

宮坂仁吾先生(体育)

昭和18.3.31着任 42.3.31退職

昭和58.8.11(心筋梗塞) 75才

長野県高校体育科の重鎮、謹厳実直、几帳面で節度があった。抜群の記憶力を持ち、殆んど全校生徒の氏名、出身地を覚え、誠心誠意生徒の指導に当たったので、生徒達からは非常に尊敬された。

(前ページよりつづき)

囲碁将棋班

製品

コンピューター周辺機器
小型精密モーター
BGMプレーヤー

シタケンニ株式会社

取締役社長 金子 八郎 (39回)

本社工場 長野県小県郡丸子町上丸子1078 ☎02684(2) 2818
上田工場 長野県上田市中央6-15-26 ☎0268(22) 3520
東内工場・上田第2工場・長門工場・真田工場

限りなく未来の輪をひろげる…

ヤア、しばらく 同期会各地で！

年二一回が定着、第26期

○昭和五十八年春の同級会

六月二六、七日、上田市当番で鹿教湯温泉一泊、参加男子三〇、婦人八、計三八名。県外在住者が積極的に常に四〇名を越すが、今回は急の事情で数名減。夫妻同伴を始めて四年、婦人の参加が増、今は同級生の雰囲気である。

第一日は美ヶ原高原の涼気を満喫して観光、鹿教湯に下って同級会。中学時代への郷愁は深まる一方で、母校の歌も年ごとにオクターブを上げてくる。荻原雅君から彼がテレビ放送をし、記念に吹き込んだ小室節・小諸音頭のレコードを全員に贈られた。酒宴に時を忘れ、部屋に戻っても話は尽きない。朝まで暮に死闘を続けた豪の者もあった。

○秋の同級会

例会を春秋二回にして四年目、秋は県外、開催地近辺在住者が当番。この秋は初めて二泊三日、松本平の小木曾・中田両君が担当。アルプス山

卒業40周年記念

ブロンズ像を寄贈、第42期

卒業四十周年を記念して第42回生一同は、校門内の中央

ロータリー庭園付近に、等身大のブロンズ少年像「闘士」を寄贈する。作者の小林三郎先生は(42回)裕君の岳父で、戦後10年間上田高校で教鞭をとられ、長野県下の彫塑界の第一人者で先年他界された方。除幕式は五月十二日(土)午後二時より現場で行う。そのあと下道「香青軒」に移り、恩師中村六男先生の受章祝賀式を併せ行う。中村先生は昨秋文化の日に、教育功労者として勲三等旭日中綬章を受章さ

卒業30周年記念 第51期

我ら上田松尾生から三十年

厳しかった今冬でも特に雪の多かった二月一八日午後、五十年の喜怒哀楽を顔に刻んだ51期の面々が雪の上山田温泉観光ホテルの坂を登って来た。地元への受付担当者としてさとう笑みの中で久々の握手。上田松尾高校を卒業して三十年を過ぎんとしている51期は地元同期生を中心に昨年末より準備して来た。先年の母校の八十周年記念行事には出来る丈大勢の同期生で協力しようとの趣旨で六五パーセントに及ぶ寄進があり、期別協力者数でトップを誇った。その為か少々準備に手抜きが出て申訳けないと思っ

た。42回生の現況は、卒業時度二〇〇名であったが、うち戦死した者六名、病気による死亡二五名で一六九名が現存者である。残念なことには一〇名の諸兄が居所不明で連絡がとれない。担任恩師ではA組の井本仁一先生が昭和44年、C組の島田武雄先生が昭和38年に逝去されたが、A組の宮坂軍太郎先生、D組の中村六男先生のお二人が尚元気カクシヤクで御光来いただけるのは嬉しい限りである。(水野記)



斎藤前校長を囲む第51期の面々

上田市上下水道指定工事店
一般建設業許可(般・51)第3651号
総合設備工事・L.Pガス、石油販売
総合建設工事・ゴルフ練習場

株式会社 城南ガス設備

代表取締役 田中 明 (51回)

上田市大字上田原435 〒386-11
電話0268(22)5123



柳屋建設 株式会社

代表取締役 柳 沢 章 雄 (59回)

専務取締役 小 林 軍 治 (37回)

〒386 上田市中央2-13-17
電話(0268)24-3220

ふるさとを離れて

支部総会に三百名余

関東支部長 矢島 五郎

昭和五十八年度の関東支部における主なる行事を記し、御報告したい。

(一)各期代表幹事会の開催
五十八年三月、九月、十二月及び五十九年三月に開催して、本会運営のための各期代表幹事諸氏の御協力を得た。

(二)第二十二回関東支部大会
五十八年六月二十八日午後六時より、上野文化センターにて、母校の諸先生方及び僚友校役員諸氏、三月の新卒業生の招待歓迎会を兼ねて、賑々しく総員三百余名を数えて盛會に無事終了した。

(三)会報「うえだ」の発行
五十八年五月二十八日に第二十九号を、十二月一日に第三十号を発行し、会員相互の親睦交流の資とする。

(四)本会員の諸会合について
各期毎の各同期会は、個々に盛んであるが、これとは別に、各運動部のOB会、出身地が同郷の友垣の会、卒業期にとらわらず同好の各種の諸会合、また同職業にたづさわ

る同窓生の集いがあり、同一会社に勤務する同窓生の会合等々、何れの諸会合も同窓生の信頼のもとに盛況である。

各支部 紹介

関東支部新役員

関東支部ではこの三月の幹事会で役員改選が行われ、長期にわたって熱意あふれる支部長であった矢島五郎氏(37)が勇退、代って新支部長に神野勝男氏(40)が就任した。

38	幹事長	清水 幾男
37	"	柳田 誠
37	"	浅野 恭平
35	副支部長	花岡 倂男
36	支部長	神野 勝男
44	"	堀内 茂雄
54	書記	馬場 武彦
58	"	赤池 三男
32	監事	高見沢 澄平
35	"	石倉 謙一
41	副幹事長	宮下 俊夫
48	"	中沢 利夫
54	"	小市 則夫
39	計長	藤勝
44	"	堀内 茂雄
54	"	馬場 武彦
58	"	赤池 三男
32	"	高見沢 澄平
35	"	石倉 謙一

北の果てから……

北海道支部長 宮坂 幸男

早春三月とは名ばかり、札幌は連日真冬日で、街は勿論原野も山も雪の中でかわしく、きつい表情をたよせ、一見無味乾燥そのものの態である。

この寒さの中、三月三日に同窓会を召集した所、当日は意外に暖く、雪だけのぬかるみにもめげず、三三五五街のど真中にある「スエヒロ」に集った。

開會に先立ち札幌大学平尾教授(5)に中華民国見聞のスライド映写をわずらわした。

支部長の簡単な挨拶のあと清水氏(35)の若々しい音頭で乾杯を唱和し宴が始まった。

みちのくだより

東北支部長 皆瀬 明

みちのく仙台は今年はまだ梅の蕾もかたいこのごろです。四十四回生の私は十九年に北大医卒後、現在まで仙台にずっといたため、昭和三十五年頃から上田高校出身の医学部学生を中心に、在局の先輩も交えて、新入生歓迎会、卒業祝と、年2回小生宅に集い、

故郷の話、高校時代の先生の話、校歌、応援歌にと、親交を温めていた次第です。(他学部は連絡もとりにくく、又卒業後すぐ仙台を去るため)医師という職業が卒業後も長く大学に残るので、今日まで長くこの会合が続いてこられたものと思います。

人数の増すにつれ小生宅では狭くなり、街の料亭に会場を移して現在に至っております。最近では東北大に來る人が著しく減り残念でなりません。そんな関係で三、四年前から本校卒に限らず、上田在高校で医歯薬系学生を交えて辛うじて例会をつづけている現状です。

仙台は暮し易いところです。御來仙を待っています。

長野支部だより

幹事長 伊藤義久

県都長野市に拠点を置く長野支部は、小林巳根夫支部長以下会員二百数十人、それぞ

れの分野で頑張っています。昨年度の支部総会も盛大に開催されました。五月二十五日、幹事会を開き、総会の諸準備を協議、案内状二〇〇通を発送。(案内もれの方、名簿の不備をお許し下さい)

東部町同窓会だより

幹事 保科倅教

昨年の十二月二日、上田高校東部町同窓会が、御牧会館に於て行われた。現在、東部町には三百名を越える同窓生がいる。

当日は七十八名の参加者があり、盛大な会となった。出席者はほとんどが四十才を過ぎた方……。

毎年この様な会を持って欲しいとの声が多く聞かれた。そこで会長に石井補人氏を選び、さらに幹事、会計などの役員も決めて、今後この同窓会が発展的に運営される事を申し合わせた。

西田技研工業株式会社

NISHIDA TECHNICAL INDUSTRY CO., LTD.

長野県上田市上田原1,113番地 〒386-11 ☎(0268)22-5152(代)

専務取締役 西田 不折 (57回)

ふるさと便り

盛大に築城四〇〇年祭

駅前広場に幸村像

上田市では、昨年四月から十一月にかけて上田築城四〇〇年祭記念行事がくりひろげられた。

戦国時代、徳川勢を相手に知将ぶりを発揮した非運の武将真田幸村（信繁）の父、昌幸が、天正十一年（一五八三年）上田築城に着手してから四百年目を迎えるにあたり、いま県下三番目の都市として成長した現状をふまえ、将来への発展隆盛の節目になるように願って行われたもの。

上田築城は、平城として天正十二年に完成し、昌幸、幸村父子が居城したが、その時海野郷（東部町）や原郷（真田町）から住民が移され、町家を作られた。これが、後世の城下町の基礎づくりとなった。

このため築城四〇〇年祭を官製のものでなく、市民の手づくりのよるものにと、という関係者の考えから、各種団体の年中行事をすべて「築城四〇〇年記念」として、全市民にその意義の認識を深めてもらうことになった。そして、

協賛行事は四十七団体によってすめられ、期間中、滞りなく終了した。

市はじめ市内主要団体で構成された上田築城四〇〇年祭実行委員会が主催したメイン行事は、お城まつり、ポスター・パンフレットの発行、姉妹都市（鎌倉・上越・出石町）の物産と観光展、真田昌幸・幸村・十勇士大阪入城ぐらいであったが、構成団体による関連行事が、記念行事を盛りあげた。

メイン行事のお城まつりは江戸時代の「城祭」の故事にならって常田・房山の両獅子（上田獅子）を始め、近郷近在の各獅子、民俗芸能や、姉妹都市の賛助出演もあり、秋の終日、にぎわいをみせた。

関連行事の圧巻は、真田まつり実行委員会の真田武者行列で、永野市長の真田幸村を始め、各種団体による三



馬上の武士を先頭に市内を行進する幸村隊

百人の武者揃いとなった。その真田まつりは、ことしから桜の時期に開催することになった。真田武者をたたえた新民謡「真田ざくら」も製作された。

いま記念事業の二つがすすめられている。その一つは、



海野町隊

上田築城二の丸橋前に観光客の寄り所となる上田観光会館（仮称）の建設であり、もう一つは、都内在住の篤志家による上田駅前広場への真田幸村馬上像建立である。本年秋には、両方も完成の予定。

建設のつち音たかく

小牧橋や文化センター

いま上田市では、北陸新幹線、関越道上越線など高速交通網時代を前に、建設の響きがあちこちに聞こえてくる。

すでに完成したものを始めこれから着手するものなど二つ三つの例を拾ってみた。

(1)市内で十八番目の南小学校が中之条地籍で四月に開校

した。過密化した川辺、城下両小学校の一部を収容するために建設されたもの。

(2)千曲川右岸の下堀と左岸の小牧を結ぶ小牧橋。全長三百八十メートル、取付道路ができると主要道路としての役割が期待される。

(3)上田観光会館（仮称）は

八月末完成予定。みやげ品コーナー、郷土民芸品実演展示コーナーや食堂、無料休憩所なども設けられ、観光客の良い寄り所となる。

(4)上田文化センター（仮称）は文化会館と中央公民館を併設したもので、本年十二月完成を目標に市立図書館西側に

建設されており、五百人収容の中ホール、三百人収容の大会議室ほか文化活動の拠点となる施設が設けられる。

(5)上田商工会議所会館が五十九年度完成を目標に近く着工される。現在、敷地は旧会館を解体し、一時、駐車場に利用しているが、五階建て延べ約二千六百平方メートルの会館を予定し、商工業の殿堂となる。

(6)倉升地籍の長池跡地に創造館が、五十九年度から二年計画で建設される。児童科学館、文化ホール、体育館の複合機能を備えたものとなる。



信州路の風味——信州名物・そば饅頭 信州銘菓・そばまる

御菓子処

千野

千野 芳 靖 (51回)

長野県上田市中央3-2-18 ☎上田(22)1302

みなさんのお出掛けを お待ちしております

心やすらぐ旅の宿

信州観光ホテル

代表取締役専務

宮本 寛文 (51回)

〒389-08 長野県更級郡上山田温泉

☎02627(5)2300(代)

東京(988)7391：名古屋(682)5377

同窓会館ピンチ!!

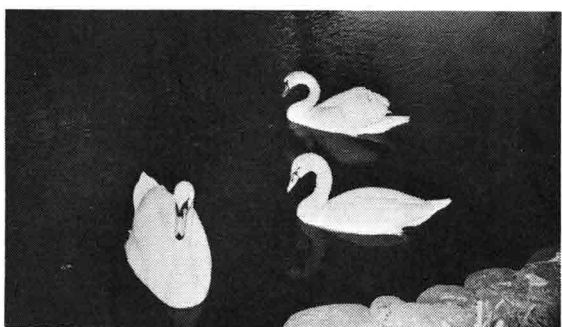
維持会費納入にご協力を

もとより同窓会館は同窓生に無料開放されていますが、平素は主として在校生徒の利用に供されており、クラブ活動ホームルーム活動に、運動部の合宿に頻繁に活用され、又PTAや先生方の諸会合にも利用されて、学校にとって無くてはならぬ貴重な施設となっております。

会館は同窓会入会金と同窓会員の篤志による維持会費を主たる財源として運営されており、維持会費は現在約

二四〇〇名ですが、このところ頭打ちで増加せず、年々の物価高のため、会館の維持運営はピンチに陥っている現状で、何とか新しい会員獲得を目指し、又既会員の納入口数の増加を願っている次第です。何とぞ御賢察の上、奮ってご協力下さるようお願い致します。

維持会費は年一回一口千円となっておりますが、できれば今後は一人三口程度をお願い致したく、納入には次の三通



上田新名所?

一昨年春、近所の人から校門前のお濠にひとつがいの白鳥が寄付された。昨年春四羽のヒナが誕生したが残念ながら三羽が夭折。一羽が元気良く育って、一年でもう親と同じ体格に成長した。エサを持って毎日訪れる老夫婦がいるなど、新しい上田の名所?となりつつある。

維持会費納入状況

昭和58年度の納入状況を見ると、一番多いのは郵便振替により納入いただいた方で約一、二〇〇人で二〇〇万円。

次が東洋信託による方で、約一、〇〇〇人で九三、二万円。一番少いのが銀行自動振替で約二〇万円

ビデオテープあっせん

- 同窓会では母校や故郷を紹介する次のビデオをあっせんしております。購入希望者は事務局へ。VHS・ベーターの別を必ずご指定のこと。
- 制作 田中豊雄氏(36回卒)
- (1)「城跡の母校」 上田高校創立80周年記念 (37分) ¥15,000
 - (2)「築城のまつり」 上田築城400年祭記念 (35分) ¥15,000
 - (3)「四つの塔の物語」 大法寺、安楽寺、前山寺 国分寺 (20分) ¥11,000
 - (4)「天平の遺産」 信濃国分寺発掘の記録 (27分) ¥13,000
 - (5)「霊墓」(りょうぼ) 信州の鎌倉塩田平の紹介 (16分) ¥10,000
 - (6)「ながせ」 長瀬学校開校100周年記念 (31分) ¥13,000
 - (7)「野猿の楽園」 志賀高原地獄谷野猿公苑の一年 (20分) ¥11,000

各支部役員紹介

- ◎長野支部
 - 支部長 小林巴根夫 23
 - 副支部長 倉島 宗二 23
 - 志摩 熊雄 34
- ◎札幌支部
 - 幹事長 伊藤 喜之 41
 - 市村 喜之 41
 - 義久 44
- ◎札幌支部
 - 支部長 宮坂 幸夫 32
 - 副支部長 池田 孝三 44
- ◎仙台支部
 - 副支部長 池田 孝三 44

編集後記

ことのほか寒く、長い冬だっただけに、この春はいっそう貴重なものに思えます。はじめて編集会議がもたれたのは、そんな冬の、とりわけ寒の厳しい二月中旬でした。今回組織された編集委員会は総勢十名。なかなか多彩なメンバーで、年に一度の発行ではもったいないくらい……。そして多くの方々に、記事や広告のご協力をいただいで、どうやら発刊です。文字を大きくしたり、できるだけ写真を使ったりして、読まれる会報、読みやすい会報にしようと思いがけたりもしています。これを手にしたみなさんに、たとえひとときでも青春のなつかしい思い出が甦るなら、そんなうれしいことはありません。(龍)

同窓会頒布図書のご案内

同窓会「会員名簿」	3,000円	(送料共)
上田高等学校史「草創編」	2,000円	上製
「中学前編」	1,500円	並製
上田高校野球部部史	3,300円	
写真集「古城の門」(改築前の写真集)	1,000円	
	3,000円	

…新刊書籍専門……



長野県上田市中央2丁目8の10(海野町) 〒386 電話(0268)22-1156

取締役社長 水野洋三 (40回) 専務取締役 水野春海 (42回)